

# 第12回

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

# 琉大21世紀フォーラム



日時

平成20年4月25日(金)  
17:15~18:15

場所

琉球大学法文学部新棟215教室

## 話題：「沖縄における中国食文化の受容と変容」 —食文化からみる中琉関係史—

発表者：赤嶺 守 (琉球大学法文学部教授)

最近、沖縄そばの専門店が増え、そばに沖縄という地名を冠していることから沖縄そばを沖縄のオリジナル料理だと思っている人が多い。戦前沖縄そばが「しなすば」と呼ばれていたことを知る人も少なくなっている。沖縄のそばは小麦粉で作られ製造過程で茹でられ、茹で上がると油をまぶしておく。そして食する際に再び湯に通すわけであるが、そうした麺は中国にもあり、台湾の市場などでは「油麵」として現在でも売られている。伝統的な首里菓子として知られる「金楚糕」(ちんすこう)や「鶏卵糕」(ちーらんこう)なども中国菓子であるし、「砂糖油揚」(さーたーあんだぎい)も中国で「開口笑」と呼ばれる菓子である。代表的な豚肉料理のラフティも中国では「東坡肉」という名称で知られる料理である。沖縄独自の食文化だと思われているものの中には、中国の食文化の影響を受けたものが実に多い。しかしそうした中国の食文化は受容後、その多くが時代を経て沖縄流の変容を遂げている。フォーラムではそうした中国食文化の移入の歴史的経緯そしてその受容と変容について語る。

### 発表者プロフィール



赤嶺 守  
琉球大学教授

#### 略歴

- ・昭和62年4月 法政大学沖縄文化研究所地方研究員
- ・昭和63年10月 琉球大学教養部講師
- ・平成3年6月 台湾大学大学院  
中国史学研究所博士課程修了  
文学博士(台湾大学)
- ・平成3年4月 法政大学沖縄文化研究所国内研究員
- ・平成4年4月 琉球大学教養部助教授
- ・平成8年10月 琉球大学教養部教授
- ・平成9年4月 琉球大学法文学部教授  
(国際言語文化学系東洋文化講座)

著書：『琉球王国-東アジアのコーナーストーン』講談社、  
『清代中国の諸問題』山川出版社  
『琉球・沖縄史の世界』吉川弘文館 など



## ●今後のフォーラム（予定）●

第13回 講師：南郷 辰洋（沖縄県情報産業協会 会長）  
 話題：沖縄の情報産業の現状と将来展望－必要とされる人材  
 日時：2008年 5月 9日（金） 17：15～18：15

第14回 講師：石嶺 伝一郎（沖縄電力株式会社 社長）  
 話題：未定  
 日時：2008年 5月30日（金） 17：15 ～18：15

※なお、学外来訪者をお願いして臨時フォーラムを開催することがあります。

### 建物配置図



### 法文学部新棟2階

